

伊賀市地域公共交通計画策定支援業務委託 調査方針

－ 目 次 －

1. 業務目的	1
1.1. 検討項目	2
1.2. 検討フロー	2
2. 検討方針	3
2.1. 現計画の評価	3
2.2. 上位関連計画の整理	4
2.3. 地域概況・地域公共交通の現状の整理	5
2.4. 地域公共交通の利用実態及び地域ニーズの把握・分析	6
2.5. 伊賀市の地域公共交通の課題整理	9
2.6. 計画の基本的な方針の検討	10
2.7. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項の検討	11
2.8. 伊賀市地域公共交通活性化再生協議会の運営支援	12
2.9. 打合せ協議	12
2.10. 計画書（中間案）の作成	12
3. 業務工程	13

1. 業務目的

「持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」が、令和2年11月27日に施行され、これまでの地域公共交通網形成計画の名称が地域公共交通計画に変更され計画策定は努力義務となった。

その後、令和5年4月28日に公布された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」が、令和5年10月1日より全面施行され、法改正により創設・拡充された枠組みを含め、あらゆる政策ツールを最大限活用し、利便性・生産性・持続可能性の高い地域公共交通への「リ・デザイン（再構築）」が加速化している。

伊賀市では、上位計画である第2次伊賀市総合計画・第3次基本計画に即し、伊賀市都市マスタープラン、伊賀市立地適正化計画及び伊賀市地域福祉計画等との連携・整合を図りつつ、地域公共交通に関するマスタープランとして「伊賀市地域公共交通計画（以下、「現計画」という。）」を令和3年3月に策定（令和7年2月に改定）した。

本業務は、現計画が令和8年度末に計画期間の満了を迎えることに伴い、現計画の目標達成状況や施策の進捗状況及び市民・利用者等の多様なニーズや利用実態を把握・評価したうえで、伊賀市における地域公共交通の課題を整理し、目指す将来像、基本方針、基本目標等の設定、目標を達成するために行う事業及びその実施主体等を検討し、公共交通を取り巻く近年の社会情勢の変化等を踏まえ、次期地域公共交通計画を策定することを目的とする。

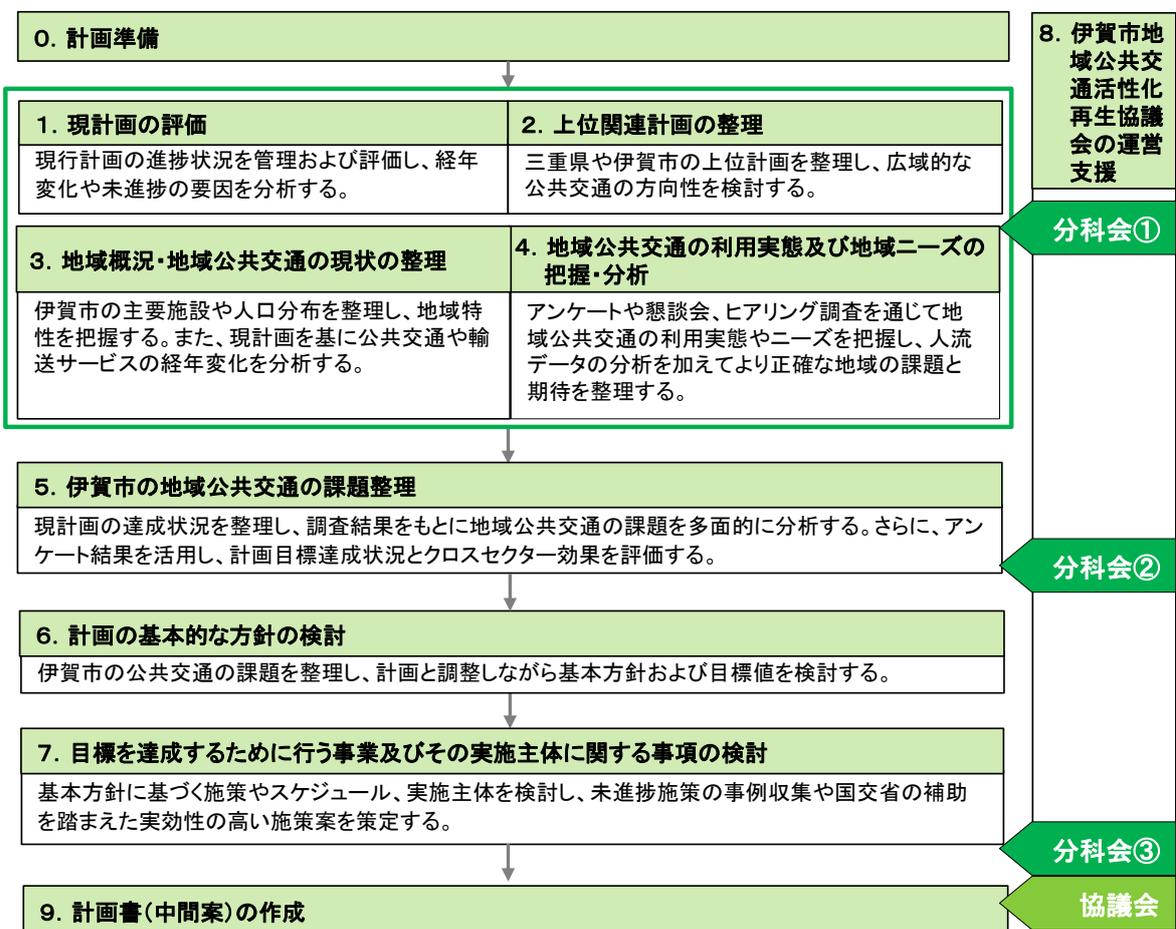
1.1. 検討項目

- (0) 計画準備
- (1) 現計画の評価
- (2) 上位関連計画の整理
- (3) 地域概況・地域公共交通の現状の整理
- (4) 地域公共交通の利用実態及び地域ニーズの把握・分析
- (5) 伊賀市の地域公共交通の課題整理
- (6) 計画の基本的な方針の検討
- (7) 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項の検討
- (8) 伊賀市地域公共交通活性化再生協議会の運営支援
- (9) 打合せ協議
- (10) 計画書（中間案）の作成

1.2. 検討フロー

検討フローは以下の通りである。

図 1-1 検討フロー



2. 検討方針

2.1. 現計画の評価

【特記仕様書 記載事項】

現計画の進捗状況管理と進捗度合の評価を基に、現計画の評価を実施する。評価にあたっては、評価指標の経年変化を整理するとともに、進捗していない施策については、その要因を考察し、今後の方向性を整理する。

【実施方針】

- ・ 伊賀市地域公共交通計画の事業取組状況について、現計画の事業主体（市庁内関係部局、公共交通事業者）への意見照会を実施し、進捗及び目標値の達成状況を把握する。
- ・ 目標の達成・未達の要因を分析する（体制・資金・手法・周知方法等の観点から分析）。

2.2.上位関連計画の整理

【特記仕様書 記載事項】

三重県や伊賀市の上位計画を整理するとともに、伊賀市の関連計画、周辺市町の地域公共交通計画等を整理する。これより、市域を跨いだ公共交通体系の考え方や多様な他分野における地域公共交通への期待等を整理する。

【実施方針】

- ・ 幅広い世代に使いやすくシームレスに移動できる市内移動の実現に向け、三重県・伊賀市及び周辺自治体の上位・関連計画との整合性を確保する。
- ・ まちづくり・観光・福祉・脱炭素等、総合的な視点での公共交通の位置づけを確認する。

表 0-1 整理する上位・関連計画

カテゴリ	上位・関連計画	計画に反映すべきキーワード・視点（抜粋）
総合計画	第3次伊賀市総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンパクトシティ・プラス・ネットワーク ・ 地域運行バス制度や行政サービス巡回車など高齢者の移動手段の確保 ・ 身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える ・ 交通事業者や地域と連携し安定的で持続可能な交通サービスの提供により、市民の生活交通の確保
公共交通	三重県地域公共交通計画 その他、名張市、亀山市、津市、甲賀市、山添村、奈良県、JR 関西本線（加茂以東）沿線などの地域公共交通計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通における DX・GX の促進、自動運転などの導入促進 ・ 地域が創り、育む、地域に根ざした 持続可能な交通体系 ・ 交通手段を総動員し、市民や来訪者の移動手段を確保 ・ 通勤・通学等で密接に関係している近隣市との連携強化
都市計画・まちづくり	伊賀圏域マスタープラン 伊賀市都市マスタープラン 伊賀市立地適正化計画 三重県新広域道路交通ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性の高い公共交通ネットワークの構築とサービスレベルの維持・向上 ・ 公共交通の利用を促進するため、交通結節点および周辺施設の整備 ・ 広域的拠点や地域拠点間を結ぶバスの利便性向上施策 ・ 自動運転技術や MaaS 等の次世代モビリティの導入
観光	伊賀市観光振興ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光と生活が交わる新たな移動・滞在ニーズに適應できる柔軟な公共交通
福祉	第4次伊賀市地域福祉計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の交通手段を総動員して、公平に移動でき、地域の移動性が高まる取り組み ・ 公共交通を補完する移動手段の充実
脱炭素・環境	伊賀市環境基本計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車利用の抑制、公共交通機関の積極的な利用

2.3.地域概況・地域公共交通の現状の整理

【特記仕様書 記載事項】

伊賀市の主要施設の立地、人口構造や分布状況等の整理を行い、地域特性の把握を行う。

公共交通に係る整理は、現計画を基本に、経年変化を整理するとともに、地域公共交通に影響を及ぼす地域の輸送サービス等についても整理を行う。また、計画期間に限定することなく、長期的な視点で設定するものとする。

【実施方針】

- 地域公共交通計画の「アップデートガイダンス Ver1.0」（国土交通省総合政策局）を踏まえ、①人口情報、②地域特性情報、③交通ネットワーク情報、④交通サービス利用状況、⑤潜在需要情報を重ね合わせ、可視化しながら、公共交通空白地や潜在需要とニーズの乖離について分析し、課題抽出を行う。

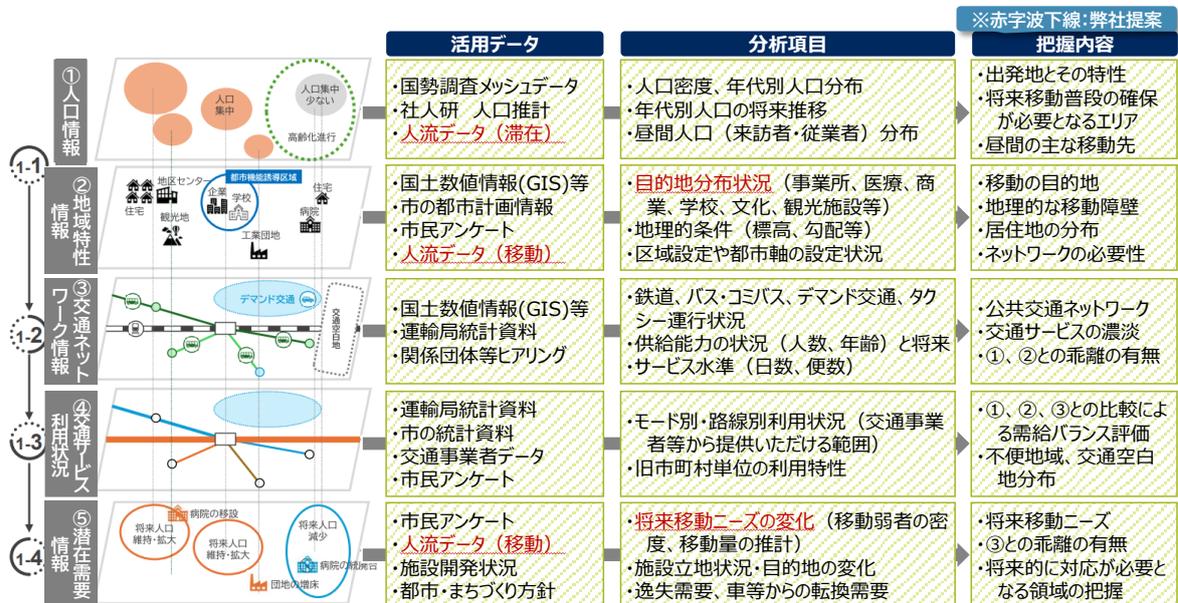


図 0-1 「地域公共交通計画のアップデートガイダンス Ver.1.0」を踏まえた分析方針

2.4.地域公共交通の利用実態及び地域ニーズの把握・分析

現計画に位置づけている施策や、近年の交通実態の変化に着眼し、市民アンケート調査及び公共交通利用者アンケート調査などを行い公共交通の利用実態や地域ニーズを把握する。

なお、アンケート調査では把握できない地域住民の移動目的地やニーズ等を把握するため、総合計画や地域福祉計画等の策定時の意見や、伊賀市地域公共交通活性化再生協議会地域部会（以下、「地域部会」という。）等での意見を整理する。

また、交通事業者（鉄道、バス、タクシー）、観光・福祉・教育関係団体等にヒアリング調査を実施し、各団体の地域公共交通に対するニーズや考え方を整理する。

人流データの分析や市民・公共交通利用者アンケート調査、交通事業者等のヒアリングなどを実施し、より正確な地域のニーズを把握する。

【実施方針】

①市民アンケート調査・公共交通利用者アンケート調査

- 市民アンケート調査（2,000通配布）を実施し、市民の移動の実態や公共交通への要望を把握するほか、公共交通の重要な利用者である高校生（市内高校）を対象としたアンケートを別途実施する。
- 公共交通利用者の実態を把握するために、利用者アンケート調査（市内主要拠点3箇所程度）を実施する。

表 0-2 市民アンケート調査概要

対象	区域内の住民計 2,000 世帯 ※対象世帯は住民基本台帳からの無作為抽出を想定 ※別途、市 HP 等での回答フォームの URL 等掲載も想定
目的	市民の移動実態や、公共交通への要望の把握
方法	調査票の郵送配布・回収（WEB 併用）
調査内容	<p>回答者属性</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 居住地（地区）、性別、年齢、家族構成 ✓ 運転免許有無、自動車保有状況、運転頻度 <p>移動特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 駅・バス停までの距離、外出頻度 ✓ 移動目的別の目的地、頻度、主な移動手段 ✓ 鉄道・バスの利用状況、よく利用する駅・バス停 <p>公共交通に対する要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 鉄道・バスに関する改善点、利用しない理由 ✓ 鉄道・バスの今後の利用意向 <p>今後の公共交通の運営に対する意向</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 公共交通を見直すにあたって重視すべき点 ✓ デマンド交通の導入 <p>新技術の活用（自動運転等）に対する期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 近隣の助け合いによる移動手段の提供の可能性（自家用有償制度やコミュニティカーシェアなど） ✓ 公共交通に対する行政支援の在り方 等

表 0-3 高校生アンケート調査

対象	高校生（2年生）
目的	通学時の公共交通利用実態・利用可能性等の把握
方法	学校を通じて配布・回収及びWEB 併用
調査内容	通学者属性 ✓ 居住地、学年、部活動の有無、定期券の有無 現在の通学方法 ✓ 交通手段（行き・帰り、晴天時、荒天時） ✓ 通学/下校時間、家族等に送迎される頻度及び負担感 ✓ 下校時の立ち寄りの有無 公共交通の利用について ✓ 通学以外に公共交通を使う頻度、現在の交通手段への満足度

表 0-4 公共交通利用者アンケート調査

対象	公共交通の利用者アンケート調査
方法	・直接配布及び聞き取り（上野市駅等市内主要目的地3カ所程度）（平休各1日）
調査内容	利用者属性 ✓ 居住地（地区）、年齢、職業、自宅から最寄りのバス・鉄道、その距離、運転免許の有無等 公共利用状況 ✓ 利用頻度、目的地（駅・バス停）、到着地（駅・バス停）、利用目的、バス・鉄道を利用する前後の移動手段、乗継状況、支払方法 公共交通への改善要望他 ✓ 利用満足度、公共交通の改善要望

②地域部会への意見照会

- ・ アンケート調査や人流データなどビックデータからは把握できない事項を把握するため、地域部会（6地域【上野地域、伊賀地域、阿山地域、大山田地域、島ヶ原地域、青山地域】）での意見照会を実施する。
- ・ 地域別に課題や対応策が異なることが想定されるため、交通ネットワーク状況やアンケート調査結果も踏まえ、地域の主要な移動目的地やニーズの他、地域の主要な課題や今後の交通サービスの可能性について意見収集を行う。
- ・ 総合計画や地域福祉計画等の策定時に出た意見や、過去の地域部会等が出た意見の収集も行い、分析を行う。

③関係機関ヒアリング調査

- 公共交通の運営等に関する課題を把握するために、交通事業者、観光、福祉、教育関係団体等へのヒアリング調査を実施する。現況整理結果を踏まえヒアリング調査資料を作成し、データを示しながら具体的な課題を確認できるようにする。

表 0-5 各団体へのヒアリング調査項目（案）

[1] 交通事業者等へのヒアリング調査

対象	路線バス事業者/鉄道事業者/タクシー事業者
調査内容	運行の現状 ✓ 運行状況、利用状況 等 公共交通運行上の具体的な課題 ✓ 運営上の悩み ✓ 路線改善の支障となる事象 ✓ 幹線・枝線化等が望ましい路線の把握 ✓ 車両の更新状況 ✓ 車両・乗り場・駅等の施設 ✓ 交通結節点・乗継等の乗り換え 他の公共交通との連携の在り方 ✓ 他の公共交通機関等との競合の状況 ✓ 他の公共交通機関等との乗継に関する連携可能性等

[2] 教育関係団体等へのヒアリング調査

対象	教育委員会、学校
調査内容	スクールバスの具体的な課題 ✓ 運営上の悩み（行政負担面） ✓ スクールバスの利用状況 スクールバス活用の方向等 ✓ 混乗の可能性 ✓ 幹線・枝線化を含めた民間事業者との連携のあり方

[3] 福祉関係団体へのヒアリング調査

対象	社会福祉協議会
調査内容	福祉有償運送の具体的な課題 ✓ 運営上の悩み ✓ 利用状況 ✓ 移動弱者の移動に関する困りごと 公共交通の更なる利用に必要な事項

[4] 観光団体等へのヒアリング調査

対象	観光協会、主要観光施設 ※主要な観光施設を人流分析による主な滞在箇所により抽出
調査内容	✓ 来訪者の主な交通手段 ✓ 公共交通網への意見・要望

[5] 主要目的地施設等へのヒアリング調査

対象	病院・商業施設等 ※主要な目的地施設を、市民アンケート等を活用して抽出
方法	WEB アンケート調査
調査内容	公共交通の利用状況（職員含） ✓ 利用者属性（出発地、年齢層等） ✓ 公共交通機関との連携状況（情報提供の連携、待合設備の提供、バス路線の乗入れやバス車両の待機スペースの提供） ✓ 公共交通に求める改善点

④ビックデータ分析

- ・ 各種調査では把握できないような、詳細の移動目的地や移動時間等について、人流データを活用し、市内の移動需要を把握する。
- ・ 路線バスのＩＣカードデータ（事業者より貸与を想定）の乗降データを整理し、乗降の多い停留所や利用実態についての分析を行う。

2.5.伊賀市の地域公共交通の課題整理

現計画に基づき実施した施策・事業の達成状況を整理するとともに、（４）の調査結果に基づき、伊賀市における地域公共交通の課題を多面的な視点で整理する。

なお、計画目標の達成状況の評価にあたっては、公共交通利用者アンケート調査結果に基づき、クロスセクター効果の分析などを行う。

【実施方針】

- ・ 各種統計データや関連計画、アンケート・ヒアリング調査結果・地域部会等の結果を踏まえ、伊賀市の地域公共交通をとりまく現状・問題点を抽出・整理し、地域公共交通の維持・充実に向けて、本計画で取り組むべき課題を多面的な視点から整理する。
- ・ 公共交通の効果のクロスセクター効果分析実施及び、数値化が困難な定性的な効果は、事例として取りまとめる。

現時点で想定している主な問題点	取り組むべき主要課題
<p>公共交通利用者の変化・減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生・高校生：少子化の進行により利用者が減少 ・ 高齢者：加齢に伴う外出頻度の減少、移動ニーズの多様化、免許返納による公共交通への期待 	<p>都市構造や移動ニーズを考慮した路線再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点と地域拠点、居住地のネットワーク構築 ・ 幹線の利用者数維持と補完的バスのあり方検討 ・ 拠点の環境整備による拠点性強化
<p>都市構造の変化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上野中心市街地及び新庁舎周辺でのまちづくりが進展中。 ● 広域拠点は上野市駅で変わらないものの、市庁舎の移転等により市内の拠点（郊外からの主要な目的地）が変化している可能性 	<p>周辺自治体との広域移動の利便性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋、大阪への広域移動が可能な居住地としての利便性の維持 ・ 周辺市町への通勤・通学の利便性維持・向上
<p>多様な輸送資源の総動員による分かりにくさ・効率の低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民移動は自家用車による移動が中心 ● 複数の移動モードが複雑に入り組んで市内を運行、同じ目的地に行く複数のバスがあるなど、分かりにくい面がある ● スクールバスと路線バスや行政バス等とのルート为重なり等もある 	<p>公共交通の利用しやすさの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスや行政バス、その他多様な輸送資源間の調整による分かりやすい情報提供 ・ 乗り継ぎ負担の軽減
<p>収益性の低下と負担額の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者の経営状況悪化 ● 一部の路線を除いた収支率や運行効率性の悪化 ● 運転手等の担い手の不足 	<p>分野間の調整による 効率的な交通サービスの維持・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルートの重複やリソースの最適な配分を可能にする役割分担 ・ 各輸送資源の乗り継ぎの利便性向上
	<p>使って支える、地域協働・体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用意識の向上、共助による移動サービスの可能性検討

図 0-2 現時点で想定している主な問題点と取り組むべき主要課題

2.6.計画の基本的な方針の検討

伊賀市の公共交通のこれまでの経緯や、地域特性、公共交通に関するニーズや課題を具体的に把握するとともに、伊賀市で策定又は策定予定の各種行政計画と整合を図りながら、地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針を検討する。また、数値目標は持続性や地域主体性を評価できる項目など、多面的な視点による目標値を検討する。

【実施方針】

- ・ 上位・関連計画や各種調査結果を踏まえ整理した地域公共交通の課題に対応するよう、地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針を設定する。
- ・ 公共交通の将来像については、移動需要と供給能力を踏まえ、地域内の交通体系を「地域間幹線」、「拠点間幹線」、「生活幹線」、「地域内交通」と体系的に整理し、ネットワークの役割を明確化する。

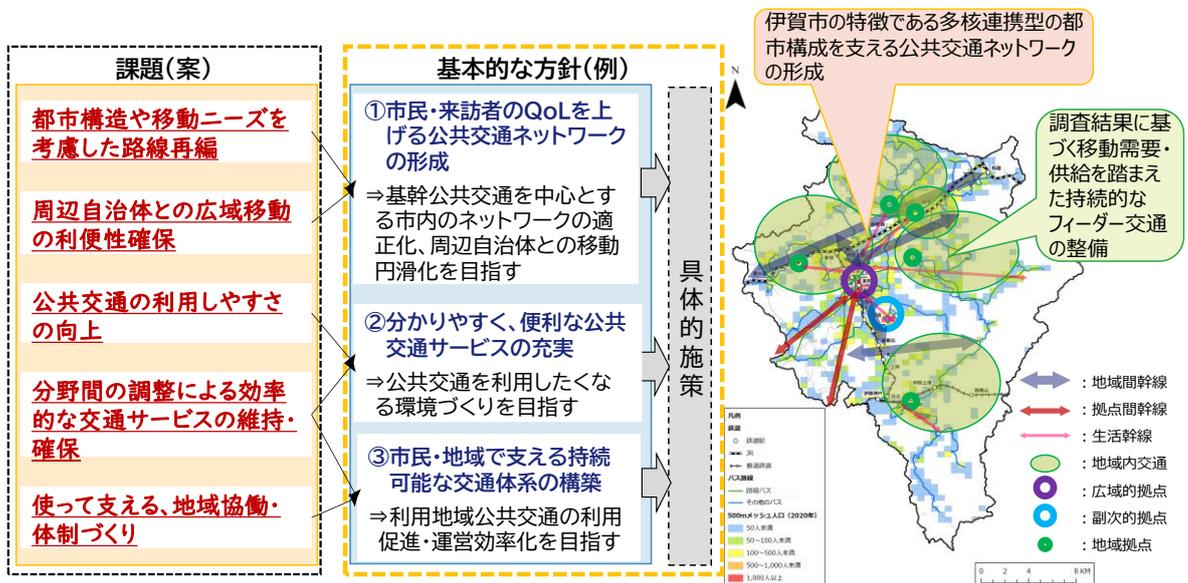


図 0-3 基本的な方針の考え方

2.7.目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項

基本方針ごとの施策や実施スケジュール、実施主体を検討する。また、現計画において進捗がされていない施策や今後より重点的な検討が必要な施策については、事例収集を行うとともに、国交省の補助メニュー等を踏まえ、実効性の高い施策案を検討する。

【実施方針】

- ・ 目標を達成するために行う事業は、短期事業（事業期間 2～3 年程度）、中期事業（同 4～5 年程度）、長期事業（同 7～10 年程度）に分類して検討し、事業の実施の現実性を高めるため、想定される実施主体等のステークホルダーに意見を事前照会し、各関係者の役割の明確化、国の補助制度の整理等を行う。
- ・ 事業検討に際しては各種調査結果に基づく地域の実情やヒアリングで得た関係機関の意見を精査し検討する。
- ・ 計画達成状況を評価する目標指標の設定については、公共交通事業者からの情報提供や各種関連調査で把握可能なものを極力活用し、個別調査の実施を最小限とすることにより、効率的なモニタリングを可能とする。
- ・ 事業進捗管理のためのアウトプット指標と目標の達成状況把握のためのアウトカム指標の2つの観点で設定する。

表 0-6 個別事業・目標指標の設定イメージ

実施事業の視点	個別事業・施策への反映	実施主体	目標指標
路線の見直し	【短】移動ニーズを踏まえた路線バス運行ルートの見直し 【中】需要を踏まえた路線バスから新たな移動手段（シェアサイクル、デマンド型交通等）への転換の検討	市、バス事業者、タクシー事業者	路線別収支率 公共交通利用者数
公共交通の利便性向上	【短】待合環境の整備・強化（例：バス停への屋根、椅子等の整備促進、電源・Wi-Fi等の導入、デジタルサイネージの設置、商業施設や道の駅等への乗入れ、駐輪場整備） 【長】名古屋からの速達列車の運行、関西本線の電化	市、交通事業者、拠点施設運営者	待合環境の改善 施策実施件数 市民満足度
新たな交通手段の導入	【中・長】AI デマンド型交通、自動運転・グリスロ等の検討（郊外） 【中】シェアサイクル・電動キックボード等の検討（中心市街地）	市、交通事業者	公共交通利用圏の人口カバー率
利用促進（モビリティ・マネジメント）	【短】公共交通を用いた通勤・通学や観光利用の促進（例：定期補助、観光と連携したイベント）の実施	市、交通事業者、観光団体	利用促進キャンペーンの実施件数
地域住民・事業者・行政による連携・協働	【中】自家用有償旅客運送制度等を活用した地域運営型の公共交通手段の検討 【中】学校・医療施設等の利用者向けの送迎サービスでの一般利用者受入等の連携	市、学校・医療施設等運営者、地域住民	関係機関との連携に関する協議／地域主体の取組件数

2.8.伊賀市地域公共交通活性化再生協議会の運営支援

伊賀市地域公共交通活性化再生協議会に必要な資料の作成を行う。なお、計画検討分科会は、3回、協議会は1回の開催を想定する。会議への出席、議事録の作成については、発注者にて行う。

【実施方針】

- ・ 計画検討分科会（3回）及び、計画案を協議するための協議会（1回）の資料作成を行う。

2.9.打合せ協議

業務の進捗に合わせて、適宜打合せ・協議を行う。なお、着手時、中間時2回、納品時の計4回を予定する。

【実施方針】

- ・ 伊賀市地域公共交通活性化再生協議会委員への資料配布時期を考慮し、適宜打合せを実施する。

2.10.計画書（中間案）の作成

伊賀市地域公共交通計画の本編および概要版の中間案を作成する。なお、本編および概要版の製本印刷は含まない。また、計画書資料編を作成し、検討の経緯を整理した業務報告書を作成する。

【実施方針】

- ・ 計画とりまとめにあたっては、今後10年間での計画に大きな影響が想定されるターゲットポイントを整理しつつ、「基本的な方針」、「計画区域」、「計画目標」、「事業・実施主体」、「達成状況の評価」、「計画期間」等を記載する。
- ・ 計画書のとりまとめは完結でわかりやすい本編とし、調査結果等は資料編としてとりまとめを行う。概念図や事例、可視化（イラスト等）の活用により、計画の概要を視覚的にイメージしやすくし、共通認識を得られるよう工夫する。
- ・ 要点を視覚的にわかりやすく整理した概要版を作成する。

3.業務工程

本業務の工程表を表 3-1 に示す。

表 3-1 業務工程表

検討項目	月										業務量の 目安	備考		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
0. 計画準備	業務計画書の作成・提出										2%			
1. 現計画の評価											6%			
2. 上位関連計画の整理											3%			
3. 地域概況・地域公共交通の現状の整理											7%			
4. 地域公共交通の利用実態及び地域ニーズの把握・分析											30%			
市民アンケート調査	計画	実施									(7%)			
利用者アンケート調査	計画	実施									(6%)			
関係機関ヒアリング調査	計画	実施								実施	(7%)			
地域別部会への意見照会											(6%)			
ビックデータ分析											(4%)			
5. 伊賀市の地域公共交通の課題整理											11%			
6. 計画の基本的な方針の検討											8%			
7. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項の検討											8%			
8. 伊賀市地域公共交通活性化再生協議会の運営支援	8月中旬 分科会①										12月下旬 分科会②	3月上旬 分科会③	10%	分科会3回 協議会1回
9. 計画書（中間案）の作成											7%			
打合せ● / 業務審査・業務照査（社内）▲	▲ ●									▲ ●	● ▲ ●	8%	打合せ4回	
業務進捗予定(累積) (%)	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	100%				